

令和 8 年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点			
国語	文学国語	4	「現代の国語」「言語文化」を履修したのちに履修			
指導目標	1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。					
	2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
教科書		副教材等		添削指導	面接指導	
文学国語（東京書籍）				12回	4単位時間	
多様なメディアを利用した学習による面接指導時間数の減免実施の有無		☐	実施している	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数		該当なし
		☒	実施していない			
添削指導（レポート）						
回	学習内容			対応する面接指導の回	提出期限	
1	・登場人物の性格・特徴について理解する。 ・言葉の意味について理解する。 ・本文に掲載されている同じ意味のものをを見つけ、答える。 ・漢詩について理解する。 ・正しい漢字の読みを理解し、正しい漢字に直す。			1	5月13日	
2	・本文の状況を理解し、正しいものを選択する。 ・本文の内容を理解し、谷川について要約する。 ・山椒魚の心情を理解する。 ・正しい漢字の読みを理解し、正しい漢字に直す。 ・話に登場する主人公（山椒魚）と小動物との関係について理解し、自分が面白いと思う関係を答える。			1	5月13日	
3	・詩中の発言者が誰かを理解し、方言がどこで使用されているかを答える。 ・現代仮名遣いを理解し、正しく直す。 ・短歌内の湖の名を具体的に答える。 ・短歌の表現技法を理解する。 ・短歌の句切れを理解し、各句の句切れを答える。 ・短歌の内容を理解し、関連する語を答える。 ・正しい漢字の読みを理解し、正しい漢字に直す。			1	6月6日	
4	・言葉の正しい意味と読み方を理解している。 ・傍線部を正しい漢字に直すことができる。 ・文中の比喻表現を理解し、本文から抜き出す。 ・文中が指している具体的内容を理解する。 ・登場人物の心情を理解する。 ・本文の内容を理解し、聞かれている問いに答える。			2	6月6日	
5	・童話「赤頭巾」の作者や作品が生まれた場所を理解している。また、本文で「赤頭巾」の内容が書かれた部分を示す。 ・指示語の内容を理解し、問いに答える。 ・筆者の考える「文学作品」を理解する。			2	7月4日	

6	・傍線部の漢字を正しく読み、傍線部のカタカナを正しい漢字に直す。 ・本文の内容を理解し、問に対して適切な解答をする。 ・粘り強く寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考える。		2	8月8日
7	・本文を通読して、「私」の行動に即して全体を3つに分け、構成をつかむ。 ・「えたいの知れない不吉な塊」によってもたらされた「私」の心理状態を捉える。 ・「私」が「以前」心をひきつけられていたものと、「その頃」心がひきつけられたものとを順番に取り出し、そこに見られる「私」の心情を理解する。 ・檸檬を買ってからの「私」の心情を理解する。		3	10月21日
8	・文語詩を深く味わう。 ・韻文の表現とリズムを意識する。 ・俳諧と俳句の違いを考察する。 ・人物像は立場の異なる解釈によって変化することを学ぶ。 ・近代俳句の成り立ちを学ぶ。 ・表現方法によって与えられる効果を掴む。		3	10月21日
9	・抽象的な表現から具体的な事物をくみ取る。 ・筆者の主張を理解する。 ・人間関係から生まれる葛藤を比較する。 ・時代背景とその性差を学ぶ。 ・登場人物の言動から心情を汲み取る。 ・戦争の悲惨さと生きることを深く考える。		3	11月11日
10	・本文中にある登場人物の決意を示す。 ・主人公の性格を本文から推測し、理由を答えることができるようにする。 ・正しい言葉の意味を理解する。 ・前後の文章から正しい時期を選択する。 ・主人公の性格・立場を理解し、自分が主人公の立場となった場合の人生を想像する。		4	11月11日
11	・評論文で多用される語彙を学ぶ。 ・対立する概念を読解する。 ・近現代の文学史を押さえる。 ・筆者の思考過程を掴む。 ・筆者の主張やその根拠を把握する。		4	12月5日
12	・本文から登場人物の年齢を推察する。 ・「存命」の意味を理解し、本文から対義語を抜き出すことができる。 ・本文を読み、登場人物の台詞等から気持ちを読み、推察する。 ・年月が過ぎ、昔は信じていたものが実は違うかもしれないと思ったものを実体験に照らし合わせて答える。 ・小説の登場人物になりきり、結末に対する考えを答える。		4	1月20日
面接指導(スクーリング)				
回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		「山月記」「山椒魚」「竹」「永訣の朝」「硝子の駒」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	6月
2		「こころ」「文学のふるさと」「文学の未来」「鞆」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	8月
3		「檸檬」「金剛の露」「平気」「空っぽの瓶」「クレールという女」 「父と暮せば」 それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	11月

4	「舞姫」「演技する『私』」「映画の可能性のために」「葉桜と魔笛」「蠅」それぞれの作品を読み、内容について学習する。	各学習センター	1 月
多様なメディアを利用した学習			
計画段階では実施予定なし			
試験			
回数	試験範囲	実施場所	実施日
1	レポート1～6	各学習センター	9 月
2	レポート7～12	各学習センター	2 月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準			
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。			
その他			
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。			